

交野周辺（七夕・ぶどう）

第206回くらわん会例会 2013/7/2（火）



<行程> 京阪交野線・交野市駅（朝会）⇒住吉神社（参拝・休憩）⇒機物神社（安全祈願・休憩）
⇒倉治公園（昼食）⇒神宮寺ぶどう園（見学・買物）⇒JR学研都市線・河内磐船駅（解散）
<歩行距離> 約7km <参加者> 138名

☆ 京阪交野線・交野市駅（朝会）⇒住吉神社（参拝・休憩）



大阪府交野市・・・人口約8万、大阪府北東部に位置し、わが枚方市に隣接し友好の深い街、郊外住宅地と田園地帯が混在する。1995年辺りまでパチンコ店が一軒もなかった市でもある。

本日は市内の「住吉神社」「機物神社」「神宮寺ぶどう園」を巡るコースを歩く。今年の「くらわん会」は晴天に恵まれ、本日も好天、京阪・交野市駅に参集した元気印は138名を数える。



野口会長の開会挨拶に続き、本日のコース説明、初参加者紹介、多数回参加者表彰、次月予定説明など恒例の朝会が行われる。

交野の旧市街を通り抜け、約20分で最初の目的地「住吉神社」に到着。「住吉神社」は主に住吉三神を祀る神社で、大阪市の住吉大社を筆頭に、日本全国に約600社あるという。



☆ 機物（はたもの）神社（安全祈願・休憩）



織姫・天棚機比売（あまのたなばたひめ）大神を祀る機物神社では、昭和54年から「七夕祭り」が復活され、年とともに賑わいを見せ、マスコミにも取り上げられるなど、今や交野を代表する祭の一つになっている。

会員の毛利信二さん（交野市在住）が、ここの中村武三宮司さんをよくご存知で、まずは安全祈願のお祓いと法話を拝聴する。98歳であるがとてもお元気、「生き方の知恵」といったお話を頂いた。



「くらわん会」常連参加の最高齢90歳の清水平三郎さん（八幡市在住）と本殿前で固い握手、お二人の合計188歳。（右下写真）



☆ TOPICS

機物神社の「七夕祭り」は毎年7月6・7日に行われるが、くらわん会当日は未だ「七夕笹飾り」を見ることはできなかった。残念に思った筆者は7月7日（日）早朝再訪したので、この時の情景をご覧頂きたい。境内一杯にお願いを込めた短冊の竹林が茂っている。



七夕祭り1（7月7日）



七夕祭り2



屋台（開店準備中）



機物神社の由来

☆ 倉治公園（昼食・休憩）



「倉治公園」は交野山（こうのさん）のふもとにある屋外体育施設で、野球場としてのグラウンドとテニスコートがあり、自然に囲まれた好条件の屋外施設である。

「機物神社」から「倉治公園」までは、ゆっくり歩いて約20分。木陰の多い広い緑地もあり、楽しい昼食が始まる。



世話役は毎回昼食前に、10～15分程度の連絡会を行っている。

次月コースの担当確認、次々月コースの下見計画に加え、安全対策や次年度コース検討等も話題になる。このため世話役の昼食時間は、時に慌ただしいものになる。（左下写真）



☆ 神宮寺ぶどう園（見学・買物） ⇒ JR・河内磐船駅（解散）



「神宮寺ぶどう園」は、毎年7月上旬～8月上旬の、ひと月だけオープンする戦後から続く交野市の地場産業。品種はデラウェア、この品種は酸っぱいイメージがあるが、神宮寺ぶどうはとても甘く、人気が高い。

「ぶどう直売所」の本格的オープンはこれからで、下見時に開店をお願いした店に、先ず立ち寄る。「とれとれ」がかなり安く販売されており、多くの方がお土産に買い求めておられた。



この後、ブドウ園等を眺めながら、関西創価高校のある道を約30分歩いて、JR・河内磐船駅に向かう。午後は少し蒸し暑い。

JR・河内磐船駅で解散し、本日のすべての行程を終了。京阪・河内森駅から、枚方での2次会（反省会）へ向かう。

取材：梅原、吉川、斉藤、毛利 HP作成：吉川

